



2024年11月1日発行 (毎月1日・1回発行) 1988年1月27日第3種郵便物認可 定価50円 発行/ 公益財団法人横浜YMCA 広報センター 〒231-8458 横浜市中区常盤町1-7 Tel 045-662-3721

横浜青年

# YMCA NEWS

# 11

## 報告

### 横浜YMCAグローバル・スタディー ツアー in タイ 2024 summer



横浜YMCAグローバル・スタディーツアー in タイ 2024 summer が8月に行われ、ユース10人を含む13人がバンコクYMCAパヤオセンターを訪問しました。ホームステイやフィールドワークを通して多様な文化や価値観に触れ、タイにおける社会課題を学んだ参加者の報告の一部を紹介いたします。11月からはじまる国際・地域協力募金の取り組みとともに、差別や貧困のない平和な世界をつくり出すために私たちに出来ることを考え、取り組んでいきたいと思っております。

#### タイでの学びを多くの人に伝え、学び続けていく

明治学院大学3年生 堀内綾乃さん

今回の「グローバル・スタディーツアー in タイ」で人身取引や性的搾取の問題について考える中で「伝えること」「学び続けること」の重要性を強く学びました。

私は、中学校や高校で人身取引や性的搾取の問題を学んだ経験がありました。その時は心の中で、自分には関係のない遠い国の話だと思っていました。パヤオセンターのスタッフの方によるレクチャーや卒業生との交流、帰国女性、山岳民族の方々、



パヤオセンターの子どもたちとの交流を通して、人身取引や性的搾取の問題を学



▲タイの子どもたちと一緒に稲を切ってしまうカニ取りや雑草取りのボランティアワークを行った



支援することで子どもが安心して暮らせる環境にしようとしています。センターのスタッフに

び、それらの問題が身近なものに感じられるようになりました。特に子どもたちと過ごした8日間は、私の意識を大きく変化させました。パヤオセンターで暮らす子どもたちはつらい背景や過去を抱えていますが、置かれている現状の中で食事の配膳や片付け、洗濯や掃除、パヤオクラフトの製作、学校の勉強などの今できることを全うしています。

私と同じグループの子どもたちは、食事の際にフルーツを一番に最初に食べるよう勧め、食事をたくさん食べるように気遣ってくれました。子ども同士でも譲り合う姿を何度も目にしました。相手の気持ちを第一に考える精神がセンターの子どもたちには身につけていると感じました。これは、大人数で生活しているからこそ身につくことだと思いました。また、子どもたちは私たちとの交流の中でたくさん笑顔を見せてくれました。パヤオセンターで生活する中で、他者の境遇だけを見てかわいそうと決めつけていた自分自身に気付くことができ、自身の視野の狭さを痛感しました。

今後は、タイの歴史や政治を学び、理解をさらに深め、このツアーで学んだことを伝える活動を続け、学び続けていきたいと思っております。

#### 子どもたちが安心して学べるよう課題解決の方法を考え続ける

聖光学院高等学校1年生 田中卓翔さん

私は、スタディーツアーで異文化体験や難しい現実を見ることができました。パヤオセンターの子どもたちは、明るい笑顔で互いに助け合っ共同生活をしていました。言葉が通じなくても仲良くなることができ、境遇は違っても同じ子どもだと実感しました。だからこそタイの子どもたちを取り巻く人身取引の問題などはあってはならないと強く感じました。

山岳民族の村でホームステイをしました。村は自然豊かで景色も美しく、歓迎してくれた村の人たちは優しく「自分たちは幸せだ」「ずっと山で暮らしたい」と言っていました。「プロジェクト・ア・チャイルド」は子どもだけでなく家族も支援するという目的があります。また、村を

よれば、村は貧困であり、その原因の一つにはインフラ整備の遅れがあり、政治的な問題もあるようです。貧困の原因を解決するためには行政だけでなくさまざまな協力が必要であると感じました。だまされて日本で強制的に働かされていた帰国女性の話を聞き、人身取引の問題の深さを知りました。人身取引は著しい人権侵害であり無くすべきもので、これを防ぐには貧困を無くすこと、そして被害者になりうる人びとが人身取引に関する知識を持つことが必要だと考えます。多くの問題の原因として貧困があり、解決することは難しいですが、私はこれからも解決する方法を考え続けていきたいと思っております。

#### タイの子どもたちの教育・自立支援のために

横浜YMCAでは、バンコクYMCAと協働しパヤオセンターの運営を行っています。子ども自立・教育支援「プロジェクト・ア・チャイルド」は、36,000円の協力で人の子どもの1年間の教育費となります。またセンターの子どもたちの大学進学のための「タンタワン奨学金」の支援も呼び掛けています。詳細、支援のご協力はお近くのYMCAまたはQRコードにてご確認ください。



## ホドス

横浜YMCAは1884年10月18日に誕生した。これを記念して去る10月5日、発祥の地・横浜海岸教会において、創立140周年記念礼拝が執り行われた。「横

浜YMCA百年史」によると、初期の青年会員たちはキリスト教信仰に基づき、娯楽運動を中心とする社会浄化・刷新運動に取り組んだことが記載されている。▼横浜YMCAの事業プログラムが質的、量的に飛躍的に拡大したのは、1916年10月に現在の常盤町の地に、初代の会館が建設されたからである。特に体育館を活用したバスケットボールやバレーボールのチーム発足、室内体操の導入が注目を浴びたほか、教養・趣味の分野でも、語学学校、各種講習会、趣味の会などを中心に会館利用者が増大し、現在の事業活動につながっている。▼しかし横浜YMCAはこの140年間に、甚大な試練・災難を体験した。関東大震災と太平洋戦争による被災である。単に建物・設備などの損害のみならず、事業活動とそれを担う会員、スタッフへの打撃が深刻であった。戦争中は、政府・軍部からさまざまな統制、抑圧を受けたほか、総主事などの大陸への徴集・派遣、灯火管制・空襲による諸活動の制約・中止を余儀なくされ、敗戦を迎えた。▼戦後、会館の米軍接収を経て、横浜YMCAは活動を再開し、YMCAの存在意義を世に問うてきたが、ここで私たちが銘記したいことは、横浜YMCAが創立以来一貫して、キリスト教精神に基づく社会奉仕活動に注力してきたことである。これはYMCAとして、これからも大切にしたい。(茂)

# YMCA NETWORK NEWS

## Topics 140years of HISTORY 室内体育館からスポーツ盛んに vol.8

1930年代に入り、YMCA会員活動も定着しはじめ、室内体育館を中心とした体育活動が盛んになってきました。社会的不安などが次第に色濃くなる時代にもかかわらずYMCAの会員活動は盛んになり横浜市における青少年活動としては市民から評価されるようになってきました。それは関東大震災後におけるYMCAの市民への救護事業やその後の奉仕が基督教青年会に対する好意としてあらわれであると「横浜YMCA百年史」に書かれています。

1927年に震災による甚大な被害を受けた会館の改修が完了して再び青少年のための活動が活発に続けられました。1930年には、体育活動として新しくデンマーク体操(東京YMCA柳田亨主事指導、横浜YMCA広田兼敏体育主事)の講習会がはじまり、YMCAにおけるデンマーク体操は次第に広がっていきました。翌1931年には第1回神奈川県バレーボール大会がYMCAの主催で開かれ、1932年には婦人体育クラブがYMCAで発足しました。同年に広田兼敏体育主事は神奈川県バレーボール協会理事に推され就任しました。この頃、スポーツをすることによる肥満解消の呼びかけや会員活動のプログラムとしてはキリスト教講演、レコード音楽鑑賞、書道、コーラス部、哲学や演劇などの研究会の諸講座が盛んになりました。



体育館においてデンマーク体操などの体育プログラムが盛んになった(1930年代)

**ポジティブネットをひろげよう**  
~今月のよくなる一歩~

ちい  
**小さなアクションで**  
せかい  
**世界を変えよう!**  
(Responsibility 責任感)

### 横浜 6587歳315人が ジュニア水泳大会

横浜YMCAジュニア&マスターズ水泳大会が9月15日に横浜国際プール(メインプール)にて開催された。この大会には横浜中央、横浜北、湘南つつか、藤沢、川崎、厚木、山手台に加え、東京・埼玉のYMCAからの出場もあり6歳から87歳までの315人が出場し熱戦を繰り広げた。

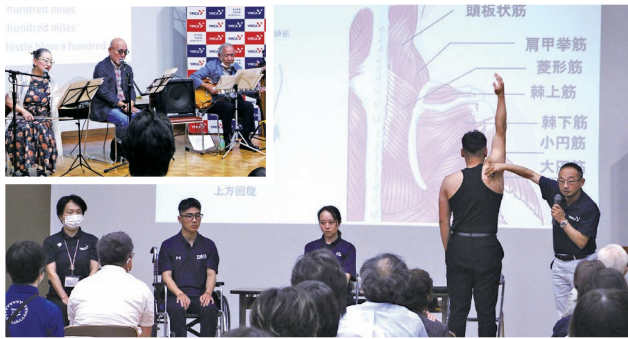


大会では年代ごとの区分にて自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ、個人メドレーなどの種目を行った。今大会最高齢87歳の柴原和可さん(YMCA山手台センター)は50m自由形、50m背泳ぎ、50mバタフライの3種目に出場し、皆全力でがんばっていきとてよかった。また来年も元気に参加したいと感想を語った。

各種目区分の1位から3位にはメダルと賞状が瀬戸俊孝健康教育事業部長から手渡された。会場には大会に向けて各YMCAで書かれた応援メッセージの旗が飾られた。

# 横浜YMCAフェスタ ~私たち会員の集い~開催 楽しく体験、仲間とつながり、よりよい地域づくりに貢献を誓う

横浜YMCAでは、9月23日に「YMCAフェスタ」を湘南とつち会員の集いとして開催し、220人が参加した。企画準備を担当した会員事業委員会では、



▲スポーツ・医療・介護を学ぶ学生と教員から身体のしくみの説明を受けストレッチを皆で体験した  
▲左上)参加者とともにとなつかしい歌を歌ったうたごえ広場の体験

と3人の生徒の皆さんと交流した。このほか、ワクワク歩行チェック(健康教育事業、ハンドベル(横浜ポトフレンド)、うたごえ広場(横浜つるみワイズメンズクラブほか)の体験やハワイキャンパプログラム報告(語学教育)、留学生による文化紹介(専門学校)、カラム大会(アフタースクール事業)、運動療育体験(オルタナティブ事業)、SDGS体験(保育事業)、認知症チェックテスト

VISION2034に示されている「会員満足度とサバイブの向上」の視点から会員がYMCAを知り、交わり楽しめる機会として行った。開会にあたり古賀健一郎会員事業委員会委員長は「楽しく体験して、仲間とつながり、よりよい地域づくりに貢献していきたいましよう」とあいさつした。プログラムでは「知りたい!あなたの知らない専門学校」をテーマに、スポーツ、医療、介護を学ぶ学生と教員によるストレッチを通して学

ぶ身体のしくみとして、医学的視点からの骨と筋肉の動きや介護職として利用者のストレッチを補助する際の注意点を学んだ。またYMCAとつか保育園を中心に「YMCAフェスタであそぼう!SDGSと平和のスタンパラリー」が行われたほか、光州YMCAに横浜YMCAから派遣の佐藤泰乃スタッフとオンラインでつなぎ、光州YMCAの活動を紹介します。イ・ケヤン校長をはじめキム・ミアスタッフ

## 11月に各地でバザーなどを開催 能登半島地震・豪雨支援の輪島塗販売も



▲多くの人が訪れたYMCAい〜とつか祭(湘南とつかYMCA2023年度)

「笑顔につながる小さな一歩」をテーマに2024年度横浜YMCA国際・地域協力募金キャンペーンが11月1日

から一斉にスタートした。YMCA国際・地域協力募金は国内外で困難な状況にある人びとと共に生き、平和な世界を創り出していくことと毎年行われている。昨年度は、多くの方から762万2457円(東日本大震災復興支援60万8160円、ウクライナ支援143万8301円、タイ支援256万2629円は含まず)の募金が寄せられた。今年も11月を中心に国際・地域協力募金のためのバザーが各地で開催される。

このうち能登半島地震・豪雨輪島復興支援として「輪島塗リユース販売」が3カ所にて予定されている。11月2日(土)午後2時から4時に鶴見中央地域ケアプラザにてトーク(ゲスト輪島市町野町在住中古の輪島塗販売を行う柴田剛氏)と販売。3日(日)午前9時30分から横須賀市立市民活動サポートセンターにてトークと販売(11時10分迄)。同日同時刻から湘南とつかYMCA(東戸塚小学校・戸塚ふれあい区民まつり)にて販売(午後2時迄)が行われる。11月のバザーの予定は4面または各YMCAのHPをご参照ください。

(高齢者事業、グローバル・スタディーツアー・イン・タイの報告(国際・地域事業)、あかちゃん世話体験(子育て支援)、ワイズメンズクラブによる絵本の読み聞かせなどが行われた。エントランスではYMCAマルシェとしてウクライナの手作り品やパヤオクラフト、アンジユのパントレザンのコーヒー、能登支援のための物産展などが行われた。ビンゴ大会もそれぞれに

賞品が当たり笑顔があふれた。最後に佐竹博総主事が準備と運営を担った委員に感謝の言葉を述べ「フェスタを通して

横浜YMCAの活動を知っていただき、地域や社会の課題と一緒に取り組んでいきましょう」とあいさつした。

## ♪子育てランド♪ 日光浴で冬も元気に!

皆さんはお日さまの光を浴びていますか?日光を浴びるとセロトニンが分泌されます。セロトニンは幸せホルモンとも呼ばれ、日光浴や運動、栄養バランスの良い食事によって生成されます。

日光に当たることで「脳の健康に役立つ」「免疫力が上がる」「ストレス解消・メンタルの安定」などのメリットがあるといわれています。逆に日光に当たらないと「必要以上にストレスを感じる」「睡眠の質の低下」「うつ病のリスクを高める」というようなデメリットがあるといわれています。

日光を浴びることで分泌されるものにビタミンDがあります。このビタミンDもうつ病やメンタルヘルスにも良い効果があると研究によって明らかにされています。

1日30分を目安に日の光に当たしましょう。日焼けが気になる方には「手のひら日光浴」というものがあります。手のひらでもビタミンDは生成されますので手のひらを日光に当てるだけでも効果があります。お日さまの光を浴びて冬も元気に過ごしましょう。

(YMCAたかつ保育園 主任 杉崎賢輔)

### 横浜 誰もが楽しめる コンサート開催

障がいのある人と共に音楽を楽しむ理解を深めようと2011年から横浜つづきワイズメン&ウイメンズクラブの創立5周年を記念してはじまった「You & Iコンサート」(同運営委員会主催)が、12回目を迎え9月28日に横浜市都筑公会堂で開催され、横浜室内合奏団(佐藤大祐代表)の演奏と歌劇団による「赤ずきん」などを333人の参加者が楽しんだ。



当日は横浜つづきワイズメン&ウイメンズクラブ、地域の障がい者支援団体、横浜YMCAなどが運営した。運営費の一部は横浜YMCAチャリティーラン支援金がいりれた。

## 創立140周年を共に祝う 10月5日に記念礼拝・感謝会 140年の歩みと支えに感謝し、今後も 地域や社会、人びとに仕える働きを誓う



▲140周年を横浜海岸教会にて共に祝い仕える働きを誓った

横浜YMCAは10月18日に創立140周年を迎える。それに先立ち5日に記念礼拝と感謝会を行い、それぞれ100人を超える会員と関係者と感謝と喜びの時を過ごした。横浜YMCAは1884年に5人の横浜海岸教会の青年が主催し、横浜基督教青年会として誕生した。記念礼拝は、

横浜海岸教会にて行われ上山修平牧師から「神様からこの世に遣わされたYMCAをさらに目指して」と題してメッセージがあった。讃美は横浜YMCA混声合唱団と参加者が讃美した。礼拝後には上海YMCAとのパートナーシップ協定締結式が行われた。上海YMCA FANGJIAN(方俭)会長、YUANYE(袁焯)総幹事と横浜YMCA工藤誠一理事長、佐竹博総幹事が協定書にサインし、共に活動を通してより良い社会を創ることを誓った。

感謝会は英一番館(神奈川県ホール)にて行われ、はじめに横浜YMCAの140年の活動が映像により紹介された。上海YMCAのFANGJIAN(方俭)会長から横浜YMCAの工藤誠一理事長にお祝いの品が手渡された。工藤誠一理事長は「次の世代に明るい未来をつなぐために、時代の変化に対応し持続可能な社会づくりに貢献していきます」とあいさつを述べた。続いて光州YMCAからのビデオレターによるお祝いやスピーチが行われた。横浜YMCA第2代体育主事として多くのスポーツを紹介した広田兼敏氏のご子息正信氏、横浜YMCA常議員・理事を長く務められた

茂木雄氏、田口努前横浜YMCA総主事・現日本YMCA同盟総主事が思い出さず今後の期待を語った。最後に、佐竹博総主事が上海YMCAに感謝の言葉を述べ、今後も社会や地域、人びとに仕える働きに取り組みすることを誓った。会場では横浜YMCA Portrait Friendsによるハンドベルの演奏が奏でられた。



今年のテーマは「Moving with Faith through the Elements - water, earth, fire, and wind」(自然現象に学び、信仰をもつて歩む)。水・地・火・風をテーマに、神奈川県内の合同祈禱集会は横浜、藤沢・平塚、鎌倉・湘南の3カ所にて行われる。連絡先は4面上を参照ください。

【藤沢YMCA・平塚YMCA】  
11月8日(金) 午後1時30分～3時。会場・藤沢YMCA。メッセージ・満山浩之牧師(日本ナザレン教団藤沢ナザレン教会)。無料。問合せ・藤沢YMCA。

【鎌倉YMCA・湘南YMCA】  
11月21日(木) 午後1時30分～3時。会場・鎌倉YMCA。メッセージ・小泉麻子牧師(日本キリスト教団大和教会)無料。問合せ・鎌倉YMCA。

【横浜YMCA・横浜YWCA】  
11月30日(土) 午後1時～2時。会場・横浜YWCA。メッセージ・飯田瑞穂牧師(日本キリスト教団溝ノ口教会)牧師・日本キリスト教婦人矯風会理事長。参加費500円。問合せ・横浜中央YMCA。

世界や地域の平和について考え、共に祈る機会とする。

### ひとかき 私の瞳が 濡れているのは

総主事  
佐竹 博

いのですが、この讃美歌は私の心を揺さぶります。10月5日、横浜海岸教会で横浜YMCA創立140周年記念礼拝を行いました。100名を超えるYMCA

美歌532番を歌いました。これまでに何度か歌っていますが、なぜかまともに最後まで歌えたことがありません。過去何度かの経験により、イントロでグググと押し寄せてくる波は堪えることができず、歌いだし「ひとたびは死にしも主によりていま生一きぬ」だけで鼻の奥がツンとなり、さらに大きな波が押し寄せてきます。「昼となく夜となく」あたりではもう歌えなくなっています。

美歌21412番讃美歌234番A、私の知る限り横浜YMCA会員総会では必ず

関係者と共に礼拝の時を持ち、祈りを捧げることができました。礼拝の中で歌ったのは讃美歌21412番讃美歌234番A、私の知る限り横浜YMCA会員総会では必ず

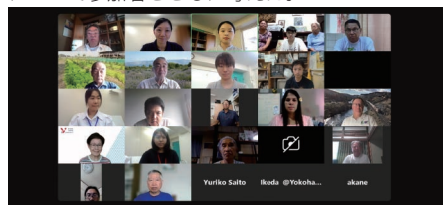
歌われ、YMCA行事では何度か歌ってきた讃美歌です。1節はYMCA混声合唱団による素晴らしいコーラスが心地よく、2節より会衆みんなで歌いました。「歴史のながれ旧きものを」会衆の声がひと塊となり、最前列にいた私は背中にもすごい勢いを感じました。大合唱だけでなく、思いが一つになったものだったからだと思います。私は背中とその圧力を感じながら、歌いだすと同時に、涙腺が緩み視界がぼやけました。心揺さぶられました。

松山千春さんの「旅立ち」に「私の瞳が濡れているのは、涙なんかじゃないわ」という歌詞がありますが、私のは涙でした。

## FLASH NEWS

横浜YMCAでは、11月を平和月間と定め、全YMCAで平和について考え、行動につなげる取り組みを行う。今年は、横浜YMCAで働くウクライナニュースが平和について自身の体験を通して語る「ピースプログラム」や、上海YMCA・光州YMCA・台北YMCAと平和のメッセージを交換することなどが予定されている。また各YMCAではハート型のメッセージカードにそれぞれの思いを記入し、平和の木(ピースツリー)に貼付し、平和な世界を創り出すために共に祈り、自分事として取り組む機会とする。

9月14日にオンラインで行われた横浜YMCAグローバルセミナーでは、2021年2月の軍事クーデター以降現地緊急支援活動や人道支援活動を続ける林健太郎医師(Barefoot Doctors Group代表理事)を講師に、現地で実施されているプロジェクトや現地の様子について学んだ。また、ミャンマーYMCA関係者も現地からオンラインで参加し、現地の様子について伝え、必要とされる支援について参加者ととも考えた。



### ワイズ ファンドレイジング コーナー 横浜つるみワイズメンズクラブ

2023年7月よりファンドレイジングに力を入れています。2020年から2022年はコロナ禍が続き、何も活動出来なかった時は、それほど感じませんでしたが、クラブの財政維持にも工夫が必要と感じています。幸い、クラブの特性を活かした「うたごえ広場」各プランチでの「おまつり」のバザー等に参加し、多額はファンドが出来ようになりました。やはりワイズはボランティア活動をすることでぎすぎすを築き、支え合い、喜びを肌で感じたいと思います。金額の高い、低いの問題ではありません。長い間には毎月、毎年、多くの同じ元気な顔の人に会える。「やっていて良かった」と、そのような思いにかられる今日この頃です。(横浜つるみワイズメンズクラブ 久保勝昭)



▲多くの会員と関係者に見守られ上海YMCAとのパートナーシップ協定が締結された



奥山スタッフは泰山スポーツセンターを中心に成人を対

世界YWCA合同祈禱週  
世界のYMCAとYWCAでは11月10日(日)から16日(土)の1週間を合同祈禱週として、各地で困難な状況にある人びとのために心をあわせて祈り行動する時としている。

【横浜YMCA・横浜YWCA】  
11月30日(土) 午後1時～2時。会場・横浜YWCA。メッセージ・飯田瑞穂牧師(日本キリスト教団溝ノ口教会)牧師・日本キリスト教婦人矯風会理事長。参加費500円。問合せ・横浜中央YMCA。

世界や地域の平和について考え、共に祈る機会とする。

横浜中央YMCA Tel 045-662-3721  
 横浜北YMCA Tel 045-433-4321  
 藤沢YMCA Tel 0466-26-1151  
 横須賀YMCA Tel 046-854-5126  
 川崎YMCA Tel 044-932-2031  
 厚木YMCA Tel 046-244-4181  
 鎌倉YMCA Tel 0467-24-7859  
 YMCA山手台センター Tel 045-813-1022  
 湘南とつかYMCA Tel 045-864-4768  
 金沢八景YMCA Tel 045-782-3003  
 YMCA東とつかセンター Tel 045-392-3747  
 大和YMCAライフサポートセンター Tel 046-264-3192

横浜YMCAワークサポートセンターアンジュ Tel 045-867-0090  
 横浜YMCAワークサポートセンターレザン Tel 045-860-5252  
 YMCAあつぎ保育園ホサナ Tel 046-222-8619  
 YMCA山手台保育園アルク Tel 045-813-1022  
 YMCAとつか保育園 Tel 045-870-3663

YMCAマナ保育園 Tel 045-790-3588  
 YMCAとつか乳児保育園 Tel 045-870-3235  
 YMCAつるみ保育園 Tel 045-500-5030  
 YMCAかわさき保育園 Tel 044-520-1825  
 YMCAいずみ保育園 Tel 045-800-3010

YMCA東とつか保育園 Tel 045-820-5588  
 YMCA東かながわ保育園 Tel 045-440-3763  
 YMCAたかつ保育園 Tel 044-281-7833  
 金沢八景YMCA保育園 Tel 045-353-5130  
 YMCAオベリン保育園 Tel 042-707-9974  
 大和YMCA保育園 Tel 046-214-3192  
 辻山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ Tel 0544-54-1151  
 三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ Tel 046-888-2100  
 鶴見中央YMCA Tel 045-508-7800  
 YMCAライフサポートセンター鶴見 Tel 045-506-0131  
 本部事務局 Tel 045-662-3721

# INFORMATION

## 横浜YMCA



●新型コロナウイルスの感染・拡大防止のため、イベントを延期・中止させていただく場合があります。(参加費は税込み)

### レクチャー

#### ■イングリッシュセミナー

日時 11月15日(金)午前10時~正午  
 会場 対面・オンライン(ZOOM)  
 テーマ Meet the Dominican Republic  
 ゲスト ザイラ・ヴァルデス・ロドリゲスさん  
 内容 ドミニカの人びとの生活や固有の音楽「パチャータ」を紹介します。  
 参加費 会員1,200円、一般1,500円  
 申込み kamakura\_info@yokohamaymca.org  
 問合せ 鎌倉YMCA Tel 0467-24-7859

### イベント

#### ■2024年YMCA国際・地域協力募金バザー

◆11月2日(土)  
 鎌倉YMCA・ふれあいバザー  
 ◆11月3日(日)  
 横浜北YMCA・北Yまつり、湘南とつかYMCA/YMCAとつか乳児保育園・YMCAい〜とつか祭、YMCAとつか保育園・オリブ祭  
 ◆11月9日(土)  
 YMCAかわさき保育園・みんなバザー  
 ◆11月17日(日)  
 富士山アクティビティフェス

#### ◆11月23日(土・祝)

横浜中央YMCA・ウエルカムフェスタ、YMCA山手台センター・YMCAまつり、藤沢YMCA・国際・地域協力募金バザー、川崎YMCA・チャリティーフェスタ、厚木YMCA/YMCAあつぎ保育園ホサナ・YMCA祭、金沢八景YMCA/金沢八景YMCA保育園・バザー 他

#### ■チャリティーコンサート ミャンマーの市民と共に 希望の光に向かって

日時 11月16日(土)午後2時開演(午後1時30分開場)  
 会場 慶應義塾大学日吉キャンパス協生館 藤原洋記念ホール  
 曲目 ビゼー・ハバネラ、シューベルト 魔王、アメイジング・グレイス 他  
 出演 ピアノ ディエゴ・カエターノ氏、メゾソプラノ 田辺いづみ氏  
 参加費 全席自由 3,000円/小学生~高校生 1,000円(全席自由)  
 主催 同コンサート実行委員会(構成団体) 日本YWCA・日本YMCA同盟・横浜YWCA・サムレーンアブサラ・横浜YMCA)  
 問合せ 横浜YMCA 本部事務局 Tel 045-662-3721

### キリスト教理解

■とつか聖書を学ぶ会  
 日時 11月14日(木)午前10時30分~

会場 湘南とつかYMCA4階404教室  
 テーマ 聖書を楽しむ学ぼう  
 講師 堀野浩嗣氏(横浜戸塚バプテスト教会牧師)  
 参加費 無料  
 問合せ 湘南とつかYMCA Tel 045-864-4768 ymsports@yokohamaymca.org

### 子育て支援

#### ■横浜子育てサポートシステム入会説明会

日時 ①11月13日(水)午前10時~11時  
 ②11月21日(木)午後1時30分~2時30分  
 会場 中区地域子育て支援拠点のんびりんこ  
 対象 横浜市子育てサポートシステムに入会を考えている方  
 問合せ 横浜子育てサポートシステム中区支部事務局 Tel 045-663-0676

#### ■プレママDay

日時 11月26日(火)午前10時~11時  
 会場 金沢区地域子育て支援拠点とことこ  
 対象 第1子妊娠の方  
 内容 タッチケア体験とおしゃべりタイム  
 問合せ 金沢区地域子育て支援拠点とことこ Tel 045-780-3205

### 学校説明会

■YMCA健康福祉専門学校  
 日時 介護福祉科11月9日(土)、28日(木)、30日(土)午前10時~/午後2時~、

社会福祉科・精神保健福祉科オンライン説明会9日(土)・30日(土)午後1時30分~3時、28日(木)午後6時~7時  
 内容 学校説明・体験授業\*オープンキャンパス(9日午前高齢者体験、午後入試&学校説明会、30日午前入試&学校説明会、午後認知症予防体験)

申込み Tel 046-223-1441  
 詳細 QRコードをご覧ください。

#### ■横浜YMCAスポーツ専門学校

日時 11月4日(月・休)、10日(日)、16日(土)、17日(日)、\*30日(土)午前10時30~/午後2時~  
 内容 学校・入試説明会\*30日10時からサッカー説明会、午後トレーニング体験を行います。

申込み Tel 045-864-4990  
 詳細 QRコードをご覧ください。

#### ■横浜YMCA学院専門学校

日時 11月9日(土)、30日(土)午前9時50分~12時  
 内容 国際情報ビジネス科学校説明会  
 申込み Tel 045-661-0080  
 詳細はHPまたはQRコードをご覧ください。ご都合が合わない場合はご相談ください。  
 同日午後13時~同学科入学試験実施。  
 ○各専門学校入試情報はHPをご覧ください。

## ウクライナのお菓子作りと交流 みどりクラブ

10月7日に、第21回みどりクラブが十日市場地域ケアプラザにて行われ、参加者全員でウクライナのお菓子づくりを行いました。ウクライナの伝統的なお菓子として、カルトブリヤ(クッキーを細かく砕き、バター、コンデンスミルク、ナッツなどを入れて丸めたもの)とりんごのパンケーキの2種類を作りました。お菓子を食しながら交流のを持ち最近の様子や情報交換などを行いました。その後、身体を動かしながら計算などを行う「脳トレ」にチャレンジしました。



## 「お米一合運動」140kg(≒934合)集めてフードバンクかながわへ

横浜YMCAは10月18日に創立140周年を迎えました。職員によるSDGs委員会が中心となり、10月1日から31日までの1カ月間「お米一合運動」を全YMCAにて取り組みました。昨今の物価やエネルギー料金などの高騰で、貧困や飢餓は拡大し、食料支援のニーズは高まっています。10月14日に行われた職員の全体研修において「お米一合運動」に806合(10月13日現在にて)の米が寄せられたことが報告されました。31日までに寄せられた米はまとめてフードバンクかながわに届けられます。



## 140years of HISTORY

横浜YMCAは2024年10月に140周年を迎えました。140年のあゆみを写真で紹介します。



▲職業実務学校が1954年開校。英文タイプを学び即戦力を目指す(1955年)



2019年、私は横浜中央YMCAのチャペルで合唱の練習をしていました。練習前に8階のラウンジで手に取った「YMCA NEWS」(横浜青年)に、留学生の日本語会話の相手を募集という記事があり、すぐに応募したところチューターに採用していただきました。これまで中国、台湾、韓国からの留学生5人の方をサポートしました。今年担当した台湾出身の学生とは、よく笑い、時に真剣に意見交換をしました。その学生は、ご本人の努力で優秀な成績を収めて卒業されました。大学の研究室で秘書の仕事をしていた私は学生との会話の中で悩みや問題を聴く度に自分に必要なスキルは何かを模索した結果、平木典子先生の「カウンセリング」講座を受講しました。大学の授業同様の専門的知識を学んだ2年間は大変な努力が必要でした。その後、産業力カウンセラーの資格を得て実技指導者にもなり、また教育力カウンセラーの資格も取得しました。人の悩みや問題は幼少期から続いていることもあり、子ども

の相談に関わりたいと当時から今も考え続けています。退職後は自己実現に役に立つ「傾聴」をボランティア活動に生かすため、横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会で「傾聴」を教えながら、自らも実践しています。外国につながる子どもたち(小学生・中学生)の居場所を作ることや、基礎的な日本語力・学力の習得のサポートを目的として冬休みや春休みなどの期間に行っている「YMCA こどもにほんごクラブ」では、外国籍の子どもたちと一緒に過ごす時間を体験しました。私と漢字の練習をした小学生はウクライナの民族衣装を色鉛筆で描いてくれました。



▲こどもにほんごクラブで子どもたちと一緒に過ごす(左/横浜中央YMCA/2024年3月)

My Y Story 178  
 YMCAsのボランティア活動を通して共に助け合って生きていく世界築く  
 ボランティアチューター  
 (横浜YMCA学院専門学校・横浜中央YMCA)  
 宗像 敏子